天然物化学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Ogawa S, Matsuo Y, Tanaka T, Yazaki Y:. (2018). Utilization of Flavonoid Compounds from Bark and Wood. III. Application in Health Foods. Molecules 23: 1860, https://doi.org/10.3390/molecules23081860 2018. (IF: 3.098)
2. Saito Y, Shiosaki Y, Fujiwara M, Mihara K, Nakamizo H, Otose K, Okamoto Y, Nakashima K, Hanai R, Kuroda C, Gong X, Matsuo Y, Tanaka T, Tori M. (2018). Eremophilanes from Ligularia hookeri collected in China and structural revision of 3β-acyloxyfuranoeremophilan-15,6-olide. Chem Pharm Bull 66: 668-673, 2018. (IF: 1.258)

A-b

1. Tanaka T, Matsuo Y, Saito Y: (2018). Solubility of tannins and preparation of Oil-soluble derivatives. J Oloeo Sci, 67:1179-1187, 2018. (IF: 1.108)

B 邦文

B-a

1. 田中一成，湯浅正洋，山本咲暁子，大曲勝久，宮田裕次，田中隆，玉屋圭，吉野豊，小野博之，丸勇史，山村春男: (2018). ビワ葉と緑茶三番茶葉を混合揉捻して製造した発酵茶葉長期摂取の内臓脂肪低減効果―ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較法―. 薬理と治療, 46: 539-547, 2018.

学会発表数

A－a	A－b		B－a	B－b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	5	1	7	12

社会活動

氏名・職	委　員　会　等　名	関　係　機　関　名
田中　隆・教授	理事・評議員	日本生薬学会
田中　隆・教授	関西支部委員	日本生薬学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資　金　提　供　元	代表・分担	研　究　題　目
田中　隆・教授	日本学術振興会･学術研究助成基金助成金	代表	基盤研究（C）植物ポリフェノールの非酵素的酸化還元不均化機構の化学的解明と普遍性の検証
齋藤義紀・准教授	日本学術振興会･学術研究助成基金助成金	代表	若手研究（B）NMR を用いたメタボローム解析による植物二次代謝の種内多様性誘導因子の解明
松尾洋介・助教	日本学術振興会･学術研究助成基金助成金	代表	基盤研究（C）紅茶ポリフェノール生成におけるカテキン類の立体選択的二量化機構の解明

特　許

氏名・職	特　許　権　名　称	出願年月日	取得年月日	番号
田中　隆・教授 ほか	新規抗白血病細胞剤	公開： 2001 年 8 月 21 日		特開 2001－2226276

田中　隆・教授 ほか	テアフラビン類の製造方法	公開： 2002 年 4 月 2 日		特開 2002－095415
田中　隆・教授 ほか	プロアントシアニジン含有物の製造方法	公開： 2003 年 11 月 6 日		WO 2003/090770
田中　隆・教授 ほか	プロアントシアニジン高含有物の製造方法	公開： 2003 年 11 月 6 日		WO 2003/091237
田中　隆・教授 ほか	茶の原料葉とビワ葉の揉捻加工による発酵茶および発酵茶に含有される抽出物を有効成分とする組成物	出願： 2005 年 8 月 2 日	2010 年 10 月 13 日	WO2006/013866
田中　隆・教授 ほか	発酵茶	2006 年 2 月 2 日	2010 年 6 月 11 日	特開 2007－202481
田中　隆・教授 ほか	血糖値上昇抑制用組成物およびこれを含有する飲食品	2007 年 2 月 1 日		特開 2007－231009
田中　隆・教授 ほか	発酵茶葉，発酵茶葉抽出物および飲食品	2007 年 2 月 1 日		特開 2007－228964
田中　隆・教授 ほか	粘土鉱物系複合材料とその製造方法	2006 年 3 月 31 日		特開 2007－291097
田中　隆・教授 ほか	高速液体クロマトグラフィーによる糖及び類縁アルデヒド化合物の絶対配置決定法	2006 年 6 月 27 日		特開 2008－032684
田中　隆・教授 ほか	プロアントシアニジンオリゴマーの製造方法	国際公開日 2006 年 8 月 31 日		WO 2006/090830
田中　隆・教授 ほか	発酵茶葉、発酵茶葉抽出物，血糖値上昇抑制用組成物および飲食品	2007 年 2 月 1 日	2010 年 6 月 23 日 (中国)	中国出願番号： 200710003049.2
田中　隆・教授 ほか	中性脂肪低下作用促進剤および体脂肪抑制剤	2008 年 3 月 17 日		特開 2009－221158
田中　隆・教授 松尾洋介・助教	脂溶性カテキンの製造方法	2008 年 10 月 21 日	2013 年 11 月 25 日	特開 2010－100540
田中　隆・教授 ほか	オリゴメリックプロシアニジン（ＯＰＣ）の測定方法	2007 年 9 月 27 日		WO　2008/038726
田中　隆・教授 ほか	粘土鉱物系抗微生物材料			特開 2009－242337
田中　隆・教授 ほか	柿ポリフェノールオリゴマー	公開： 平成 21 年 1 月 8 日		特開 2009－001531
田中　隆・教授 ほか	コレステロール低減剤	平成 21 年 2 月 18 日		特開 2010-189321
田中　隆・教授 松尾洋介・助教 ほか	肝障害予防剤	公開： 平成 24 年 9 月 20 日		特願 2011-44830 特開 2012-180309
田中　隆・教授	Water-soluble flavonoid composition, drink,	Feb 28,		WO 2014-JP55080

ほか	food, pharmaceutical product and cosmetic product, each of which contains same, and method for producing water-soluble flavonoid composition	2014		
田中　隆・教授 ほか	Novel therapeutic agent for Alzheimer's disease containing polyphenol derivative.	2015 年 11 月 6 日		WO 2016072522 A1 20160512
田中　隆・教授 ほか	アルツハイマー病治療薬	2015 年 11 月 6 日		PCT/JP2015/081417
田中　隆・教授 ほか	Method of Producing Proanthocyanidin Oligomer	2019 年 1 月 22 日		US 10,183,007 B2

○特筆すべき事項

①当研究室と、長崎県、長崎県立大学、九州大学で共同開発した混合発酵茶をベースとした「びわの葉入りまるごと発酵茶」が、消費者庁により機能性表示食品として認可されました（2018 年 7 月 31 日）。